

「姫路市中央卸売市場」移転再整備の支援を国に陳情！

姫路市中央卸売市場の移転再整備に向け、姫路市議会自由民主党は陳情要望活動を実施しました。

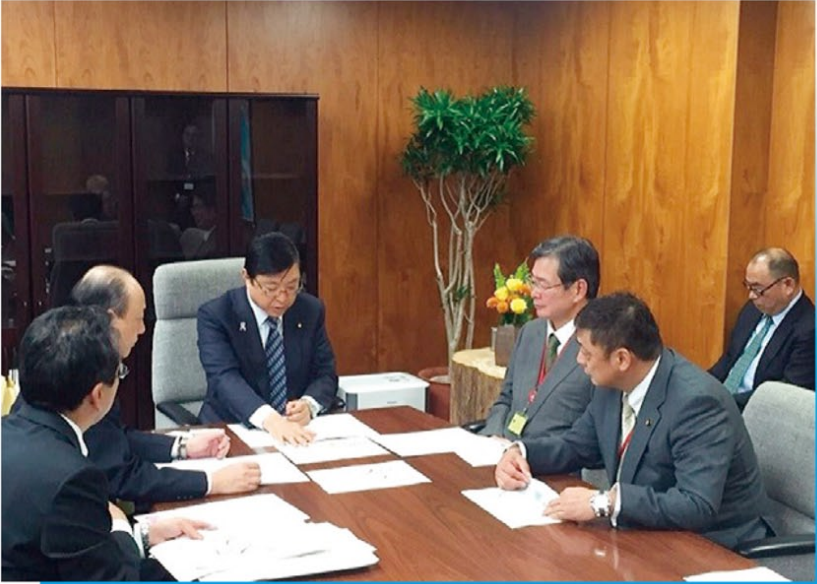
平成28年11月24日、鴻池祥肇参議院議員同行の下で、磯崎陽輔農林水産副大臣に対し、平成29年度の農林水産省の補助採択についての要望書を手渡し、説明を行いました。（陳情のメンバーは我が会派8名と、黒川副市長や市当局担当者）

姫路市中央卸売市場は、姫路市のみならず播磨地域一円に生鮮食料品を供給している重要な産業基盤ですが、施設の老朽化が進んでいるため、品質管理の高度化等に十分対応できず、市場機能の低下を招いており取扱数量が減少してきている状況です。

このため、平成24年より今後の市場整備のあり方について、開設者である姫路市と、場内事業者で構成する「姫路市市場運営協議会」双方で検討を重ね、平成27年8月に「（姫路市）白浜地区への移転再整備」の方針を決定したところです。

そこで、我が会派は政権政党としての役割を担うべく、農林水産省及び議員会館（兵庫県選出の衆参議員）を訪問し、補助採択の陳情を熱心に行いました。

なお、移転予定地の土壌汚染問題については、徹底した情報公開と万全なる汚染対策により、消費者にとって安全・安心な新市場になるよう、自民党会派として強く働きかけていきます。



磯崎農林水産副大臣に要望書の内容を説明



渡海紀三朗衆議院議員への要望状況

「姫路市中央卸売市場」移転再整備への支援を！

姫路市中央卸売市場は、姫路市のみならず播磨地域一円（約132万人）、但馬、岡山県津山方面へも生鮮食料品を供給している重要な産業基盤ですが、施設の老朽化が進んでいるため、品質管理の高度化等の社会的要請に十分対応できず、市場機能の低下を招いており取扱数量が減少してきている状況です。

このため、平成24年より今後の市場整備のあり方について、開設者である姫路市と、場内事業者で構成する「姫路市市場運営協議会」双方で検討を重ね、平成27年8月に「（姫路市）白浜地区への移転再整備」の方針を決定したところです。

施設の再整備に当たっては、移転先周辺にある「妻鹿漁港」、「妻鹿漁港フィッシュモール（水産物直売所）」、多くの食品・流通関連事業所と、場内事業者が新市場隣接地に計画している「場外市場（にぎわい施設）」との連携を図り、周辺一体を『播磨地域の食の拠点エリア』とし、観光客や市民への開放された、新しいスタイルのモデル的卸売市場に再整備する計画です。

また、施設整備と並行し、姫路市周辺（播磨地域）で水揚げや生産される農水産物を、卸売市場を通じて調達し、その産物やその加工品をブランド化し、海外輸出する取組も進めていく計画です。

市場の移転再整備計画については、昨年8月の移転方針決定後、①移転先予定地の土壌汚染対策、②移転先用地の買収及び土壌汚染費用負担に係る出光興産㈱との交渉、③移転後の場外市場を核とした「食の拠点づくり」、④移転先周辺自治会への説明やアクセス道路整備等、各種準備や調整を計画どおり順調に進めているところです。

つきましては、姫路市中央卸売市場の移転再整備に係る平成29年度の農林水産省の補助採択について、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

平成28年11月24日

姫路市議会	自由民主党
会長	宮本吉秀
幹事長	井川一善
政調会長	汐田浩二
会員	松浦國泰
会員	塚本進介
会員	重田一政
会員	八木高明
会員	竹中隆一